

銚子の魅力を
発信するちょよ!



のI♡銚子

ケーキの王子さま

第80回

山口雄大さんの巻

家業を継ぎ洋菓子部門を拡大する甘いマスクのパティシエを突撃ちょよ

大切なものは、目には見えない

「結果を残して信頼を得たい。お客さんに安心して選んでもらいたい」

趣味はテニス。爽やかな雄大さんは山口製菓舗の洋菓子部門を担っている。物心ついたときから家業を継ぐことに抵抗はなかったという。大学3年

生のとき、「洋菓子部門を伸ばしてほしい」と美家から相談を受け、製菓学校をダブルスクール。卒業後、パティシエとして、トシヨロイツカ、都内専門店やホテルニューオータニで経験を積み、2021年、コロナ禍のタイミングで銚子に帰ってきた。

無私の境地

「辛いと思ったことはない。それ以上

銚子商業高校の生徒と一緒に商品開発を目指す『銚子夢市場プロジェクト』や地域のイベントにも積極的に参加している。

「全国展開している甘食の製造がメインで、お店での営業が少なくなっただけ、地域に飛び出すイベントを大切にしていく。美味しいと喜ぶ顔を見ることが一番のやりがい。培った経験を高校生と共有できるこの取組は宝物。何より熱量が嬉しいし、刺激になる」

にお客さんの喜ぶ顔が見たいから」

初めてのショートケーキづくりでいきなりの挫折。こんなに難しいのかと逆に火が付いた。都内の修行を2年で終え銚子に帰る約束が、あっという間に5年経過。

「やればやるほど奥深さを知るパティシエ道。とにかく良いものを作りたい一心で無我夢中だった」

華やかに見えるけど厳しい仕事。専門店時代、技術の研鑽のため睡眠時間が2時間の日が続いたこともあったという。

「考えたコト、モノが認められる感動は計り知れない。SNSの投稿も

励みになる」

銚子に帰り、初めて申し込んだ千葉県コンテストで銀賞を受賞。これからは全国、世界へと挑戦し続ける。

「憧れだけでは続けていけない職業。ビジョンと信念をもって、大切なお店と地元を盛り上げていきたい」

店内のイトイン営業も将来的には再開したいと勢いとはどまることを知らない。

スイーツもマスクも甘い
うぶな雄大さんに骨抜きちょよ



2023年千葉県洋菓子作品コンテスト

グランガトー部門 銀賞

📍ベーカリー&カフェ赤毛のアン

▲ 山口製菓舗の洋菓子部門を担う山口雄大さん（30歳）
「木の葉パンや甘食なども引っ張っていきたい」

ベーカリー&カフェ赤毛のアン
山口製菓舗



清川町2-1122 ☎ (22) 4588
不定休 (HP をご確認ください)



定番のサンオレ



▲ 銀賞の「ショコラ 初心(うぶ)」
初心を忘れないようにと命名



①銚子夢市場プロジェクトで共同開発「メロンコップ」 ②「初心」断面は7層
③銚子市民のソウルフード「木の葉パン」 ④大正3年創業（創業当時 川口町）



人のうごき 令和6年7月1日現在 人口 54,466人(-104人) うち外国人住民人口 2,681人
男 26,647人(-51人) 女 27,819人(-53人) 世帯 26,792世帯(-31世帯) ※カッコは前月比
令和6年6月中の人口動態 出生 11人 死亡 74人 転入など 93人 転出など 134人